



PRINCESS CRUISES

<プレスリリース>

2013年9月13日

サン・プリンセス、改装費3,000万ドルのドライドックを経て就航

寿司レストランをリニューアルオープン、改装されたアトリウムには「インターナショナル・カフェ」を新設



改装が完了したサン・プリンセスには、(時計回りに左上から)新しい寿司レストラン、プリンセス・クルーズの代表的設備「インターナショナル・カフェ」、模様替えされたアトリウム、改装された「ロータス・スパ」を完備。

(2013年9月13日 - 東京)プリンセス・クルーズの客船「[サン・プリンセス](#)」は、3,000万ドルを投じた大規模改装を経てその魅力に磨きをかけ、就航した。乗客は[プリンセス・クルーズ](#)の代表的設備である「インターナショナル・カフェ」を新設した活気あふれる新たなアトリウムや、寿司をはじめとするシーフードが楽しめる新しいレストラン、リニューアルされたbuffet「ホライズン・コート」、改装された「ロータス・スパ」を堪能できる。

「ドライドックを経て客船は見事に刷新されました。乗客の皆様には、新たな選択肢や代表的設備のすべてに満足していただけるでしょう。日本およびその地域一帯を何度も就航した経験から得た、新たなアジア的要素もお楽しみいただけます。」とプリンセス・クルーズのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、ジャン・スワーツは語った。

船内の新しいアトリウムには、軽食を常備したプリンセス・クルーズの代表的設備「インターナショナル・カフェ」を新設し、座席を増やして装飾を一新した。また従来「ランデブー・ラウンジ」があった場所に設置された、寿司とシーフードを提供する「海(Kai)寿司」は、拡張され常設のダイニング・スペースとなった。「ホライズン・コート」にはモダンなフードサービスエリアや、アラカルトメニューをその場で調理する実演コーナーに加え、パストリーショップとコーヒーバーも併設し、内装を新調して座席数を増やした。「スターリング・ステーキハウス」ではリニューアル後の洗練された空間で素晴らしい食体験を堪能できる。なお、最上階デッキには屋外バーベキュー施設も備えており、アイスクリームバーではスペシャリティーコーヒーも楽しめる。「ロータス・スパ」も全面改装され、刷新されたインテリアで乗客を迎える。



PRINCESS CRUISES

これまでのレストランやエンターテインメントの豊富な選択肢に、新たな魅力が加わったサン・プリンセスは、人気の高いプールサイドの屋外大型スクリーン「ムービーズ・アンダー・ザ・スターズ」や、最上階デッキにある大人のためのリラクゼーション・スペース「サンクチュアリ」をはじめとする個性豊かな設備も兼ね備えている。さらに多くの客室がプライベート・バルコニー付きで、ステーキハウス、ピッツェリア、ブティック、インターネット・カフェ、その他の施設も充実している。

サン・プリンセスは、2期目となる日本発着クルーズのため、2014年4月に日本に戻り、小樽と神戸をホームポートとして8日間と9日間のクルーズを提供する。

以上

お問い合わせは 株式会社カーニバル・ジャパンまで TEL:03-3573-3610 <http://www.princesscruises.jp>